

冬瓜

〔真本新撰字鏡〕瓜十一〔蔬其反、瓜、反、

〔本草和名十八〕白冬瓜、一名冬瓜人、一名地芝出蘇、一名温食、一名秋泉、一名桂枝已上三名和名加毛。

宇利。

〔倭名類聚抄十七〕冬瓜 神農食經云、冬瓜味甘寒無毒、止渴除熱和名加毛宇利

〔伊呂波字類抄加〕植物附植物具〕冬瓜カモウリ 白冬瓜 冬瓜人 地芝出蘇 温食 秋泉 桂枝

已上三名出兼名苑已上六名カモフリ見本草、

〔下學集下〕鴨瓜カモウリ也、

〔易林本節用集加〕草木〔冬瓜カモウリ〕

〔和爾雅七〕菜蔬〔冬瓜カモウリ〕木白瓜同、又云、

〔王氏農書二十九〕穀譜集〕冬瓜

冬瓜以其冬熟也、廣志謂之蔬距、神仙本草曰、一名水芝、一名白瓜、嵩高平澤、今在處園圃皆蒔之、其實生苗蔓下大者如斗而更長、皮厚而有毛、初生正青綠、經霜則白如塗粉、其中肉及子亦白、故謂之

白瓜、

〔日本釋名下〕草〔冬瓜カモウリ〕かもハ甍也、順和名にかもと訓ず、毛むしろ也、冬瓜に毛あり甍のごとし、故名づく、

〔物類稱呼三〕生植〕冬瓜かもウリとウグハ 畿内及中國北陸道、或は上總にてかもウリといふ、東國

にてとうぐはといふ、東國にてとうぐはをとうがんとはねてよび、又大こんをば大こといふこそをかしけれ、

〔本朝食鑑三〕菜〕冬瓜カモウリ 近俗亦同、

集解、冬瓜園圃多種之、正月下種、三月生、苗引蔓、葉大團而有尖、略似諸瓜、而大者也、莖葉有刺毛、六七